

企画展

仏とともに歩んだ画家

穂月明

akizuki
akira



野の仏(部分)

平成30年 4月21日(土)ー6月10日(日)

ふるさとミュージアム山城

(京都府立山城郷土資料館 Kyoto Prefectural Yamashiro Regional Museum)

休館日 月曜日(祝日開館 4月30日は開館し、5月1日は休館)

開館時間 午前9時から午後4時30分

入館料 個人 一般 200円 小中学生 50円

団体 一般 150円 小中学生 40円

○次の場合は入館無料

- ・65歳以上の方
- ・障害者手帳をお持ちの方とその介護者
- ・小中学校の学校教育活動の場合

○きょうと子育て応援パスポートが利用できます。

〒619-0204 京都府木津川市山城町上粕千両岩

Tel.0774-86-5199 Fax.0774-86-5589

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/>

E-mail yamasiro-s-soumu@pref.kyoto.lg.jp



企画展 仏とともに歩んだ画家 穂月明

穂月明氏は独自の画風で知られる水墨画家です。昭和33年(1958)に京都市立美術大学日本画専攻を修了した後、特定の会派に属さず、独り画業に専念しました。作品は、実家がお寺であったこともあり、仏像や寺院など仏教を題材としたものが多く、その中でも暖かみのある独特の表情の仏画は見る人をやさしく慈悲の世界へと誘ってくれます。また、寺院や風景画では、小さく描かれた人物が一つの物語を紡ぎだし、川や湖など水を描いた作品では静謐な透明感が伝わってきます。後年伊賀市に居を構え、浄瑠璃寺をはじめとする南山城の古寺や石仏などの石像美術品、さらに木津川の風景も描いています。

平成29年(2017)に御遺族から山城郷土資料館に作品を御寄贈いただき、今回それを記念して穂月明氏的水墨画の世界を紹介します。作品から情緒豊かな南山城の歴史や文化を御堪能ください。



九体寺



二尊仏(部分)



雪の山門(部分)



逝く水



壺の白芙蓉

穂月明氏略歴

- 1929年 和歌山県伊都郡高野町に生まれる。
- 1933年 愛媛県周桑郡村庄内村に転居（父が実報寺住職となる。）
- 1953年 京都市立美術大学洋画科卒業
- 1954年 京都市伏見区の醍醐寺にアトリエを構える。
- 1958年 京都市立美術大学日本画専攻科修了
- 1971年 第1回「山種美術館賞展」入選（作品「鉢中の天」）
- 1981年 三重県名賀郡青山町に転居
- 1989年 『穂月明水墨画集』（京都書院）刊行
池袋西武アートフォーラムで個展「画業35年—墨彩の世界」開催
- 1990年 新宿伊勢丹で千石任との二人展「書と画」開催
大阪上本町近鉄で個展「穂月明水墨画展」開催
- 1992年 池袋西武アートフォーラムで個展「穂月明墨彩展」開催
- 2014年 第19回「オアシス2014」大阪知事賞受賞
- 2015年 第9回「モナコ日本芸術祭」ローズ・ドゥ・モナコ賞受賞
- 2016年 伊賀市別府に「東洋文化資料館 青山讃頌舎・美術館」開館
- 2017年 ArtMaisonSelectingCommittee「A.M.S.Cスペイン本部賞」受賞
死去

関連事業

文化財講演会

4月21日（土）

午後1時30分から

「画家の仕事と背景—私の見た穂月明」

講師 一般財団法人東洋文化資料館青山讃頌舎
理事長 穂月大介 氏

列品解説

4月21日（土）講演会後

解説 一般財団法人東洋文化資料館青山讃頌舎
理事長 穂月大介 氏